

平成24年度（2012年度）事業計画

2012年度の事業は基本的にはこれまでの取り組みを継続すると同時に、それぞれの事業内容についての見直しと再構築を進め、より実施効果の高い環境分野の人材育成を推進します。

「損保ジャパンCSOラーニング制度」は2011年度まで累計で660名の卒業生を輩出しました。制度開始から13年目を迎えますが、特に最近はや若い世代の質の変化（いわゆる「ゆとり世代」等）が叫ばれており、当制度の参加者においても同様の傾向が見られます。インターンシップでの学びを通じ、参加する学生が自らの課題に真摯に向き合い克服すると同時に、長所を伸ばし着実な成長の機会とするよう、質の変化に対応した支援・指導を行って参ります。また受入先CSOの見直しや、将来に向けて未実施地区への展開方法を検討していく予定です。

「市民のための環境公開講座」は2011年度に大幅な改定を行い、受講者層を広げ特徴を明確にした講座とすべく特別講座等を設けました。2012年度も現在の路線を継承しつつ常に見直しを行い、数多く存在する環境講座の中で、特徴のある質の高い「市民講座」としてのブランド価値を一層高めて参りたいと存じます。

「環境保全プロジェクト助成」につきましては、全国各地の環境団体の有効な取り組みに対する支援として引き続き実施します。

「学術研究助成」につきましても、若き研究者育成の基盤づくりとして、継続して取組んで参ります。

「企業と環境問題研究会」におきましては、研究テーマ「気候変動への『適応』～主として自然災害リスクへの対応～」に関して引き続き研究を継続するとともに、これまでの研究成果についての中間報告の機会を予定しています。

（1）環境保全活動に活躍する人材の育成支援（事業予算計2,950万円）

①損保ジャパンCSOラーニング制度（予算2,100万円）

既存の受入先CSO団体の見直しや、将来に向けて未実施地区への展開方法等も検討してまいります。全体の実施規模は2011年度とほぼ同水準で、約40団体、合計70名程度となります。またインターンシップの中間時点における学生と団体のマッチング状況の確認を行います。

②CSOによる人材育成事業等への助成（予算100万円）

CSOが主催する人材育成事業等に対して助成します。

(2) 環境保全に関する情報の収集及び提供並びに啓発普及

(事業予算計1,650万円)

①「市民のための環境公開講座」(予算1,000万円)

2012年度は、通年講座9回、特別講座2回の開催を予定しています。2011年度に改定した方向性を継続し、多彩な講師と多様な講義スタイルを提供することで参加者の満足度の向上を目指します。通年講座のテーマは「リオ+20を振り返る」、「自然の偉大さを知る」、他を予定し、3パート合計9回開催します。

また、特別講座は、昨年開催し非常に好評となった「若手社会人・大学生向け『環境のしごと』セミナー」の第2弾に登壇者の特性を変えて実施します。また、野外での講座は東京都内の隠れた魅力を探るエコツアー形式での開催を予定しています。

②各種シンポジウム・研究会への協賛(予算100万円)

環境問題の普及・啓発に関し実施する各種シンポジウム・研究会への協賛を行います。

(3) 環境保全のための活動に従事する団体及び個人に対する助成

(事業予算計480万円)

①環境保全プロジェクト助成(予算350万円)

昨年度に引き続き同規模にて実施します。環境保全活動に現場で取り組むNPO等の団体を対象とし、1団体あたり上限30万円を助成します。全国の優れた環境保全活動を支援します。(株)損害保険ジャパンの支店とともに助成先へのヒアリングを兼ねた贈呈式を継続実施し、助成先との継続したネットワークを構築します。また、応募の拡大に向けて更なる取組みを行っていきます。

(4) 環境保全に係わる学術研究に対する助成

(事業予算計820万円)

①学術研究助成(予算180万円)

昨年度に引き続き公募し、人文・社会科学系の観点から環境問題に係わる若手研究者に、博士号取得論文作成のための費用(1研究者30万円を上限)を助成します。

②企業と環境問題研究会(予算450万円)

研究会「気候変動への『適応』～主として自然災害リスクへの対応～」を年間6回開催予定です。また、11月に研究成果に関する中間発表の機会としてシンポジウムの開催およびその内容の情報発信を行っていく予定です。